

2023年度 ヨーロッパ剣道交流の旅

NPO-IGKC 近畿地区クラブ 久保達也

新型コロナウイルス(covid19)の影響で2019年以来途絶えていましたヨーロッパ剣道の旅を、久々に復活させることが出来ました。訪問先の各所に於いて熱烈な歓迎を受け、剣道の指導や交流を通じて欧州の剣道普及を少しずつ前進させる再スタートと成りました。

従来と異なり航空券の手配が最終的に出発1ヶ月前となった為、かなり高値の航空運賃でしたが、そんな事にもめげず、参加者其々が各地からオーストリアのウィーン空港に集結し、そのまま乗換えて、先ずはミニ合宿予定地：クロアチアのスプリットを目指しました。メンバーは、熊本県から団長の野口範士、宮城県の曾根理事長、仕掛人の前野先生、東海地区の井上先生及び酒井先生、そして久保と云う小人数集団ですが、奥様同伴の先生も居られ、10人の団体旅行です。

スプリットは「ディオクレティオヌス宮殿」と云う古代ローマ時代の遺跡が港近くに在り、飲食店・土産物屋等が殆んどこの周辺に集結している小さな街です。

ミニ合宿では、地元の剣道連盟のマルコ会長の指揮の下、準備体操・素振り・正座の後 黙想・礼法 迄が整然と行われ、気持ちよく稽古を開始出来ます。

野口範士の指揮の下、竹刀を持たずに行なう基本打込み稽古・日本剣道形・防具を着けての基本打突・応用技打突・地稽古等を、土曜日・日曜日に掛けて実施しました。

三段以上が約20名、級持ち～二段迄が11名、子供が7名と、想像していたよりも人数が多く充実したミニ合宿稽古でした。

又、外食ばかりでは面白味が無いと、会員のダリオさん(三段)のお母様が所有の家でホームパーティー形式の歓待を頂き、クロアチア旅行のコーディネーター役の永吉真記さんにも調理を殆んど御願ひした格好で、大変御世話になりました。

スプリットを離れた後は、フバル島～ドブロブニク(世界遺産)へと遊覧船で移動し、暫しの休息と観光で英気を養い、次の剣道交流稽古地：ウィーンへと向かったのです。

ウィーンの空港では当初、予約バスが分からず右往左往しましたが何とか捉まえて市内迄辿り着きました。ホテルでは、ウィーン剣道連盟のロス会長の出迎えを受け、又 前後して、地元在住の小宮あかりさんとも出会い、到着の夜は(何故か)ギリシア料理をいただきました。木曜日の夕刻からウィーン剣道連盟の皆さんとの稽古を行ないました。準備体操・素振り等の指揮は地元在住の磯山先生(七段)が行ない、又 特別ゲストとしてヨーロッパ剣道連盟の前会長のホークさんが来られて地稽古の時には日本人と同じく元に立って稽古して頂きました。

稽古は、野口範士の指揮の下、竹刀を持たずに行なう基本打込み稽古・防具を着けての基本打突・応用技打突・地稽古等を実施しました。その夜は、ロス会長・磯山先生・ホーク前会長等を交えて懇親会を催し、次の日はメイン合宿地：フルステンフェルトへと向かいます。なお、ウィーンでの観光は木曜日金曜日を通じて、自由時間が比較的コマ切れであった為、本格的な観光はあまり出来なかった様です。(皆様 何回も来ておられるので余裕でしたが)

メイン合宿地：フルステンフェルトは小さい町(村?)であり、通称 グラーツ合宿と呼んでおりましたが、実際にはグラーツとフルステンフェルト間は 50km 以上離れていますので、今後 フルステンフェルトと表記します。

メイン合宿地では地元の村上先生が実質的に御世話役を務める「無門館」が約3~4割の人数を集め、その他 ウィーン・ハンガリー・クロアチア・イタリア等からも剣士が集まり、約60人超の人数が集結しておりました。数日前にクロアチアの稽古会やウィーンの稽古会で出会った剣士達が又、フルステンフェルト合宿にも参加しているのです。

合宿地での稽古回数は金曜日の夕刻、土曜日の早朝・午前・午後、日曜日の早朝・午前・午後と、7回設定されており、日本人指導側もシンドイですが、参加者の熱意に圧倒されます。

「無門館」のクラウス会長より丁寧な挨拶があり、それに答える形で団長としての野口範士が挨拶を行ないました。本当に双方が待望んだ合宿の始まりです。

野口範士の指揮の下、竹刀を持たずに行なう基本打込み稽古を念入りに行なった後、段位別のクラス分けが有り、主に初心者クラスは井上先生を中心に特別メニューの指導が行われました。(内容により、二段以上のクラスと同じ稽古内容も柔軟に取入れながら進みました)二段以上クラスは野口範士・曾根先生により、日本剣道形・防具を着けての基本打突・応用技打突・試合審判法の実技指導・地稽古が行なわれました。

今回 参加者側から「打突の機会」についての指導を頂きたいとの話があったので、全般にこの点に注力して指導が行われました。又、日本剣道形に関しては、元々参加者のレベルが高いのですが、更に細部にわたり丁寧な説明を行ない、これを習熟して竹刀剣道に活かして行く様に との指導も行われました。

日本人剣士より欧州の剣士の方が、理合に対する理解が深い・・・等の逆転現象が起こらぬ様、日本での指導もしっかりする必要があるとあらためて感じた次第です。

日曜日の午後の稽古の後は参加者が皆 帰路に着き、合宿所の宿泊客は、私達日本人の団体だけに成りました。皆様 心地良い疲れの中、今回のヨーロッパ剣道交流・指導の旅に関して振返りを行ない、又 来年も頑張ろうと云う気持ちが湧き、次の日の帰路に就いたのでした。

この場をお借りして、御協力頂きました全ての皆様に感謝申し上げます。

<終わり>



9/29 スプリット 初日夕食前



9/30 スプリット 稽古集合写真



9/30 スプリット二段以下 前野先生指導風景



9/30 ホームパーティー風景



10/2 フバル島 昼食



10/5 ウィーン 稽古集合写真



10/5 ウィーン野口先生基本稽古指導 風景



10/7 フェルステンフェルト合宿 稽古集合写真



10/8 合宿稽古 初段以下 曾根先生指導風景



10/8 合宿稽古 二段以上 野口先生指導風景



10・8 合宿稽古 初段以下 剣道形指導 (子供たち)

2024年春の海外剣道交流の旅参加者 募集のご案内

スウェーデンとラトビアで欧州剣士と交剣知愛

国際社会人剣道クラブ

5月27日（月）

スイスインターナショナルエアラインズでスウェーデンへ

各地の時刻は現地時刻です、時差を考慮ください

成田10:45⇒チューリッヒ18:10、

21:00⇒ストックホルム23:25

*28（火）・29（水）で2回稽古

5月30日（木）スウェーデンからラトビアへ

ストックホルム8:05⇒リガ10:10で

3日間稽古、試合審判

6月3日（月）ラトビアからドイツ経由帰国

リガ6:15⇒フラクフルト7:35

12:10⇒羽田6/3（火）8:10

現在時点での飛行機代約33万円（値上がりする可能性があります）

ホテル7泊約6万円～8万円

お申し込みはIGKC 関東クラブ 藤原まで、メールでお申し込みください。

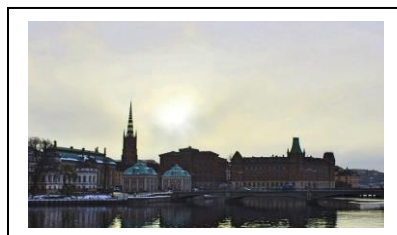
申込期限は：**第一次締め切り11月15日**

（12月になるとサーチャージ燃料代が値がりする可能性があります）

最終 締め切り12月15日です。

メールアドレスは masaru-fujiwara@w9.dion.ne.jp

ストックホルム風景



ラトビア風景

